

2019年3月18日

各位

会社名 株式会社新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之  
(コード番号 : 8303 東証第一部)

**口座開設時や商品・サービスご利用時の共通ポイントプログラムのリニューアルについて**  
～「Tポイント」に加えて、「dポイント」および「nanacoポイント」を新たに追加し、お客さまの選択肢を拡大～

当行は、新生総合口座パワーフレックス(以下、「パワーフレックス」)でのお客さまの取引に付与する共通ポイントについて、従来の「Tポイント」<sup>(※1)</sup>に加えて、「dポイント」<sup>(※2)</sup>と「nanacoポイント」<sup>(※3)</sup>を導入し、2019年4月1日から新たに「新生ポイントプログラム」としてサービス拡充を行います。

当行では、2013年9月以降、パワーフレックスの口座開設や商品・サービスのご利用に対して、Tポイントを付与するプログラムやキャンペーンを実施してきました。運用商品などの取引やウェブサイトを紹介した来店予約などにTポイントを付与してきたほか、新生銀行グループの株式会社アプラスが発行するプリペイドカード「GAICA」による海外ATMの利用ならびに国内外でのショッピングにもTポイントを付与しています。

このたび、お客さまから好評をいただいている「Tポイント」に加えて、新たに「dポイント」および「nanacoポイント」を導入することでお客さまの選択肢を広げるとともに、ポイント付与の対象となる取引や手続きの見直しを行うことで、お客さまにとってより使いやすいポイントプログラムへリニューアルすることとしました。

今後も、取り扱う共通ポイントの種類の拡大や、ポイント付与の対象となる取引や手続きの拡充を行い、お客さまにとってより使いやすいポイントプログラムを目指していきます。

「新生ポイントプログラム」の概要、プログラム変更内容の詳細は、以下のウェブサイトをご参照ください。

[https://www.shinseibank.com/info/news190318\\_service.html](https://www.shinseibank.com/info/news190318_service.html)

- ※1 「Tポイント」とは、TSUTAYA、ファミリーマート、ENEOS、ガスト、Yahoo!ショッピング、ソフトバンク携帯電話など、生活に密着した幅広い分野で利用できる、株式会社 Tポイント・ジャパン(東京都渋谷区、代表取締役社長兼 COO 北村 和彦)が運営する共通ポイントサービスです。会員数は6,871万人(2019年1月現在のアクティブ・ユニーク数)、提携企業は全国185社、約99万店舗(2018年11月末現在)に達しています。
- ※2 「dポイント」とは、マクドナルド、LAWSON、高島屋、Joshin、マツモトキヨシなど、生活に密着した幅広い分野で利用できる、株式会社 NTTドコモ(東京都千代田区、代表取締役社長 吉澤 和弘)が運営する共通ポイントサービスです。会員数は6,926万人(2019年1月末現在)、提携企業は全国307社、約8万店舗(2019年2月末現在)に達しています。
- ※3 「nanacoポイント」とは、イトーヨーカドー、セブン-イレブン、西武・そごう、デニーズをはじめとしたセブン&アイグループ各社だけでなく、エッツ、モービル、ゼネラルなどの加盟店でも幅広く利用できる、株式会社セブン・カードサービス(東京都千代田区、代表取締役社長 水落 辰也)が運営する共通ポイントサービスです。会員数は6,475万人(2019年1月末現在)、提携企業は全国40万社、約40万店舗(2019年1月末現在)に達しています。

以上